

ブロック秋季研修会(全ブロック共通テーマ)

「税よもやま話」

講師：永田恵子／荻窪税務署 法人課税第1部門統括官

レポート：第3ブロック 小林蒼光



講師の永田恵子 荻窪税務署 法人課税第1部門統括官。



講演の様子。

1 すばらしい納税者のいる荻窪

私は、東京都の墨田区錦糸町の出身で、高校までそこに住んでいました。

あまり、錦糸町を出たことがないこともあり、「国鉄（JR）線はすべて黄色い電車だ」と思っていました。税務署で働くようになってからも、勤務地が神田、日本橋、麻布、麹町と比較的「東京の東のエリア」が多く、渋谷が一番西側の勤務地でした。

そんなこともあり、私にとって「荻窪」はあまり馴染みのない町でした。

（神田税務署から異動の際に、）先輩や同僚から「荻窪はいいところだよ」「町も落ち着いている」「し、「納税者がすばらしい」という言葉をかけてもらいました。

最近、荻窪法人会の研修会などの活動に参加させてもらうにつれて、「荻窪のよさ」がわかってきました。（今回のブロック研修会などの）法人会の地域密着の活動が、「高い納税者意識」と「円滑な税務行政」に繋がっていると実感しています。

2 三年で辞めるつもりが…

私が、税務署で働き出した当時、女

性の調査官がまだ少なかったこともあり、調査の現場では、「なぜ調査官になつたんですか？」と質問されるのがよくありました。こちらが質問しなければいけないのですが、逆に質問責めにあつたこともあります。

実は、私のなりたかつた仕事は、「保母さん」です。子供の笑顔が好きだからです。

私は、昼間は税務署で働きながら夜間に保育士の専門学校に通っていました。当初は税務の職場を三年で辞めるつもりでした。しかし、働いているうちに「仕事のおもしろさ」がわかり、もつと仕事を覚えたくまりました。この仕事の魅力は、「人との出会い」だと思います。

3 「人と出会えるすばらしい仕事」

税務署の調査官は、普通の営業の方ではなかなかお会いすることのできない、「企業の代表者」のかたとお会いすることができます。もちろん、税務のお話もお伺いするのですが、

税務以外に「その業界の特色や流行」などの生の現場のお話を直接お聞きができることができ、多くのことを学ばせていただきました。

私は、後輩の若い調査官にも、「同

じょうなすばらしい経験」をしてほしいと思つています。皆さんの会社に調査官がお邪魔した際には、税務以外のことも御伺いすることがあるかもしれませんが、いろいろ教えてあげてください。

4 調査官魂を刺激する言葉 (NGワード)

私が調査の現場で経験したなかで、「調査官魂」を刺激された言葉があります。

(調査官も人間ですから言葉には注意してください。)

(1)「おじょうちゃん、

負けてくれない?」

20代の頃、50代の特別調査官と一緒に調査に行った時の話です。

税務調査の途中で、特別調査官が席を外したとき、代表者の方からこんな言葉が。

「おじょうちゃん、負けてくれない?」
20代の調査官の私は、女性だから「なめられた」という気持ちで、とても悔しかったです。「この会社は徹底的に調査しよう」と思いました。その頃の私は「早く歳をとって調査官として認めてもらいたかったんだ」と思います。

(2)「うちはガラス張りですから」
この言葉も、経営者や経理部長とお話をするときにする言葉です。

何気ない言葉ですが、「ガラス貼り」と呼ばれると、逆に「調査官魂」に火をつけることがあります。

税務調査の際には、「調査官魂に火をつける」ことの無いように注意してください。

5 時には心を鬼にして

税務調査の現場では、「時には心を鬼にして言わなければならない」ことがあると思つています。

ある大会社の営業部長の話です。
税務調査で「外注費の水増し」と「その戻しによる裏金」を発見した私は、経理部長と担当の営業部長に質問しました。二人とも「絶対にならない」と言い張ります。その後、営業部長から別室に呼ばれて「実は…」。営業部長さんはこの裏金を会社の営業活動のために使っていたそうなのですが、やはり適正な処理してもらわないとなりません。聞けば、営業部長と経理部長は、同期だそうです。そこで、「自分から直接経理部長に話してください。それまで待ちたいです」と彼に伝えました。しかし、営業部長さんは自分から言う

ことができず、彼をかえって苦しめてしまふことになりました。

上司から、「なぜ、その場で言わなかったのか?」と言われました。私が調査の現場で公表していれば、彼を苦しめてしまふことはなかったのかもしれない。

調査の仕事は、時として相手の人生を左右することさえあります。

しかし、だからこそ「時には心を鬼にして言わなければならないことがある」と肝に銘じています。今は統括官として調査官を管理する立場になりましたが、調査官には「この人のために

本当はどうすべきなのか」を常に考えて仕事するように指導しています。

6 公平な課税のために

税務署の仕事は、「公平な課税の実現」です。その手段として税務調査があるのです。

みなさんの会社にも、税務調査で職員がおじやますることがあるかもしれませんが、

至らない点もあるかもしれませんが、どうか温かい目で見守ってください。



参加した第3ブロックの皆さん。